

偏在の解消に向けた対策について(概要版)

通学区域の見直し	通学区域を見直す。	
学校統廃合	1. 既存学校を活用	既存校を活用し、隣接する小規模校を吸収統合する。
	2. 新設統合	新たな用地を確保し、複数校を統合し、新設校を整備する。
	3. 分離統合	3校以上の統合予定校のうち1校を分割して、他の学校に統合する。
学校選択制	1. 自由選択制	市内の全ての学校の内、希望する学校に就学を認めるもの
	2. ブロック選択制	市内を中学校区等のブロックに分け、そのブロック内の希望する学校に就学を認めるもの
	3. 隣接区域選択制	従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学を認めるもの
	4. 特認校制	従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、市内どこからでも就学を認めるもの
	5. 特定地域選択制	従来の通学区域は残したままで、特定の地域に居住する者について、学校選択を認めるもの
	6. 特定目的選択制	部活動等特定の目的のために、通学区域に関係なく、市内どこからでも就学を認めるもの
校舎の増築	既存校舎に増築	

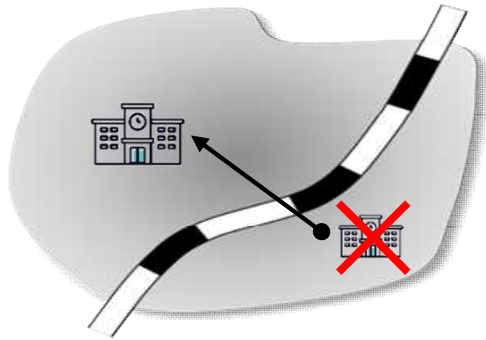
(過)大規模校

標準規模校

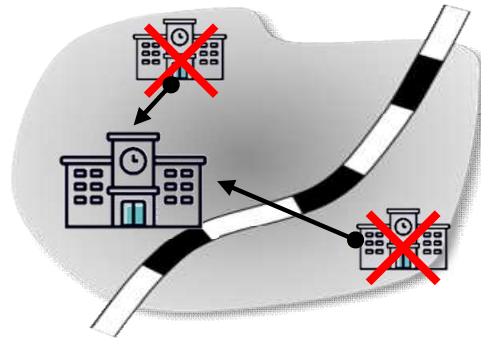
小規模校

統廃合(イメージ)

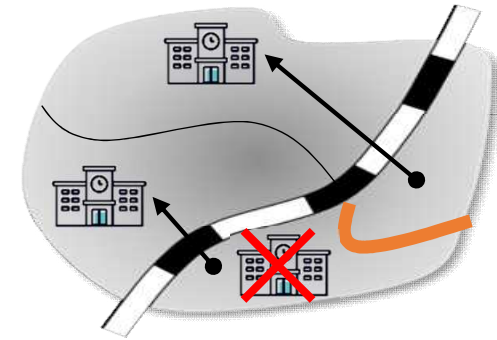
1. 吸収統合(既存校活用)



2. 新規統合



3. 分離統合



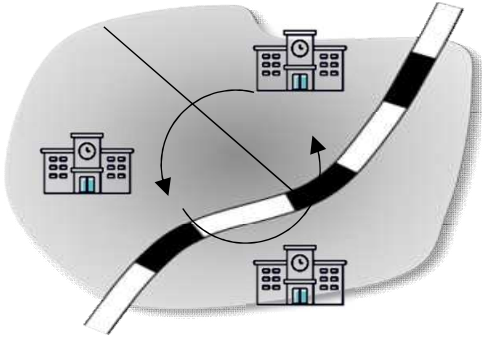
(イメージ) 既存校を活用し、隣接する小規模校を吸収統合	
長所	既存校の有効活用 廃校施設の有効活用
短所(課題)	地域コミュニティの維持 通学距離の延長 既存校の増設の必要性 地域防災拠点の消滅

(イメージ) 新たな用地を確保し、複数校を統合し、新設校を設置	
長所	通学距離や学校規模の適正化 小中一貫校の設置に向けた検討と併せて実施可
短所(課題)	立地調整 土地、新設費用等の財政負担大

(イメージ) 3校以上の統合予定校のうち1校を分割して、他の学校に統合	
長所	通学距離・規模の調整が図りやすい。 既存校の有効活用 廃校施設の有効活用
短所(課題)	地域コミュニティの維持 通学距離が延長する可能性 施設増設の必要性 地域防災拠点の消滅

学校選択制（イメージ）

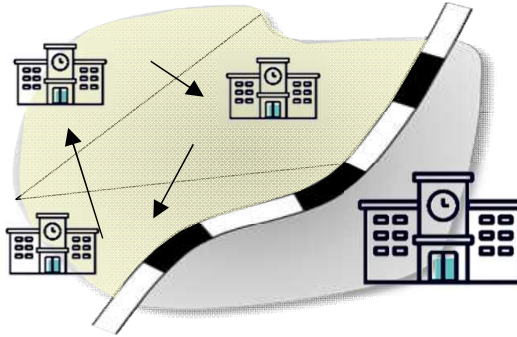
1. 自由選択制



市内全ての学校のうち、希望する学校に就学を認める。

長所	選択の自由度高まる。
短所	児童生徒の偏在が強まる可能性がある。

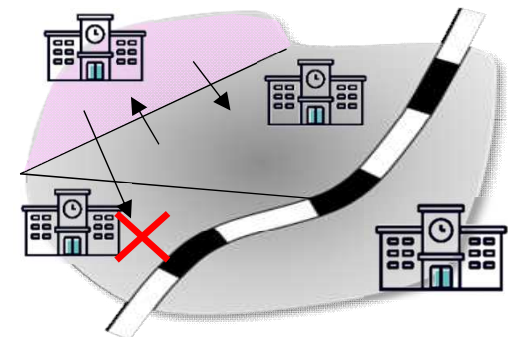
2. ブロック選択制



市内をブロックに分け、そのブロック内の希望する学校に就学を認める。

長所	選択の自由度高まる。
短所	児童・生徒の偏在が強まる可能性がある。

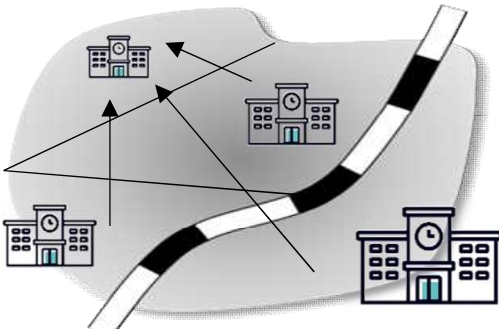
3. 隣接区域選択制



従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学を認める。

長所	地域コミュニティとの連動、通学の安全の確保
短所	選択の自由度が低い。

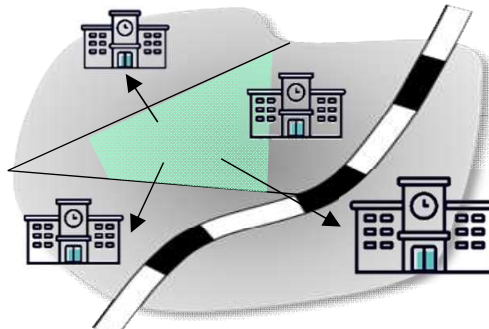
4. 特認校制



通学区域は残したまま、特定の学校について通学区域に関係なく、市内全域から就学を認める。

長所	特色ある教育の実施・規模の維持
短所	選択されない可能性 通学手段の確保

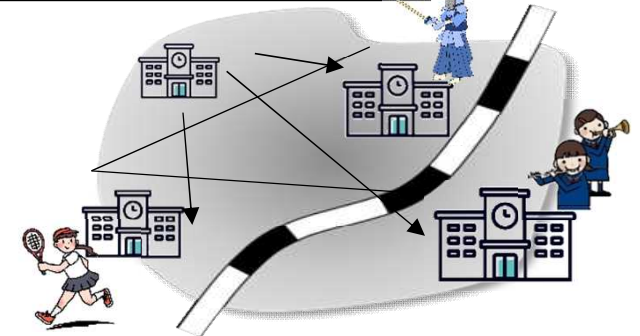
5. 特定地域選択制



通学区域は残したまま、特定の学区（区域）に居住する者について、学校選択を認める。

長所	過大規模の解消
短所	選択の自由が平等ではない。

6. 特定目的選択制



部活動等特定目的のために学校選択を認める。

長所	指定校にはない部活動等が可能
短所	選択の自由が平等ではない。

(学校選択制の留意点)

- 受け入れ側の学校体制との調整が重要
⇒ 転用可能教室の有無、職員配置 など
- すでに(過)大規模校となっている学校への就学希望は受け入れにくいという状況
- 通学に関しては、距離等に応じ公共交通機関の料金補助の対象となる可能性はあるが、原則、本人(保護者)責任となる。
- 就学の前年度に学校選択制の利用について、手続きが必要
- 学校選択制度の申請状況により、希望する学校へ就学できない児童生徒が生じてしまう可能性